

# きつつきの商売

林原 玉枝 作・村上 康成 絵

## 読む力

- ①場面のようすを思いうかべながら（そうぞうしながら）、音読する力。
- ②文しようを読んで、登場人物の気持ちを考える（そうぞうする）力。

その力をつけるために・・・

①「めあて」【「きつつきの商売」はどんなお話か、内しようをせいりしよう。】

②

このプリントで学しゆうすることは二つです。

- ①どんなお話なのか、自分のことばでまとめる。
- ②内しようをせいりする。

これからの学しゆう  
のながれを

文の内しようを

この学しゆう

とらえる

ふかめ

まとめ

ひろげる



①「どんなお話かまとめよう。」

「キツツキの商売」を一言でいうと、「どんなお話」と言えるかな。

れいをさんこうにして、お話をまとめてみよう。

れい（「スイミー」の場合）「〜が・・・するお話。」のようにまとめるよ。【

スイミーがなかまと力を合わせて、大きな魚をおい出すお話。

\*答えは一つではありません。いろいろなまとめ方があります。

だれ

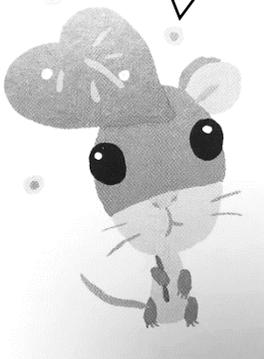
◎「きつつきの商売」は、

が、

何をする・どうなる

お話です。

いつも物語を読むときは、  
内しようを、一言でまとめる  
くんねんをしよう、読む力が  
しつじゆん。



②内ようをせいりしよう。

◎「きつつきの商売」という物語は、「1」と「2」の二つの場面に分かれています。それぞれの場面は、どのようなようすが書かれていますか。教科書に書かれていることばをつかって、ようすをせいりしましょう。



「きつつきの商売」という物語は、「1」と「2」の二つの場面に分かれています。それぞれの場面は、どのようなようすが書かれていますか。教科書に書かれていることばをつかって、ようすをせいりしましょう。

音のねだん	音のようす (カタカナで)	きつつきが 聞かせた音	天気	場所	登場人物		「1」場面	「2」場面
					おきやく	店の人		
		【	晴れ(天気のよい日)					
		】の音						
		【						
		】の音						

◎二つの場面をくらべて、あなたは、「1」場面のおきやくと

「2」場面のおきやくのどちらのおきやくさんになりたいかな。

\*理ゆう(わけ)は、教科書の中のことばや文をつかって、書くといいよ。  
理ゆう(わけ)のおわりは、「」からです。「」という書き方をするよ。



自分の考え

ぼくは、  
わたしは、「」

わけは、

「」の場面のおきやくになりたりです。

